



# 東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

## 2012 - 2013 年度テーマ

R.I. テーマ 「奉仕を通じて 平和を」 R.I. 会長 田中 作次  
地区ガバナー 石川 正一  
クラブテーマ 「クラブライフの充実で、ロータリーの魅力を語ろう!」  
クラブ会長 原田 毅

## 本日の卓話

ガバナー公式訪問

クラブ協議会

## 今後の卓話予定

- 9/5 「最近の労使紛争とその未然防止について」  
特定社会保険労務士 社労士法人ゼネラル・プレインズ代表 伊藤孝仁 様
- 9/12 「ロータリアンだからこそ出来る新世代奉仕」  
地区新世代委員長 茂木正光 様
- 9/19 夜間例会・ショートスピーチ 永井会員夫人
- 9/26 「台東区にある博物館について」 天笠会員令嬢 天笠咲子 様



2012年8月29日

第1282回例会

会長 原田 毅  
幹事 宮村 義男



9月結婚記念日

27日 (29周年) 本ご夫妻

## 前回 (8/22 1281 回例会) の記録

### 来訪者紹介

- ◆ゲスト 0名
- ◆ビジター 2名 東京麹町R.C. 金田達明 様、東京浅草R.C. 阪口幸治 様

### 出席報告

| 総会員数 | 休会 | 出席免除 | 出席  | 欠席 | 出席率     | 修正出席率                     |
|------|----|------|-----|----|---------|---------------------------|
| 46名  | 1名 | 3名   | 38名 | 6名 | 86.365% | 1279 例会修正 欠席3名・出席率 93.02% |

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

## 会長報告 <原田会長>

・RI会長メッセージに、「心に残るロータリー体験」を分かち合う事が非常に大切な事だ。という事で、個人的体験に基づくメッセージの例をいくつか用意する事を決

めた、とあります。早速、グーグルで検索しますと「心に残るロータリー体験」でいくつか出てまいりますので、是非試して下さい。会員増強にも大いに使えると思います。ちなみに8月は、会員増強月間です。

## 幹事報告<宮村幹事>

- ・来週29日のガバナー公式訪問  
会長・幹事・S.A.A.・親睦委員長は9時40分、  
他の委員長は10時15分にご集合下さい。
- ・事務所の内線の番号が3399から3736に  
変更になりました。

---

## ニコニコボックス

### <原田会長、宮村幹事>

- ・矢野さん本日の卓話、宜しく申し上げます。

### <松崎>

- ・矢野幸士さん、本日の卓話を宜しくお願  
い致します。皆さんに分かり易く話して下さ  
い。
- ・残暑お見舞い申し上げます。くれぐれもご  
自愛下さい。

### <山尾、藤掛、天笠、吉田、関原、中村、大塚、 永井、海内、岩戸、上野、尾泉、笹生、浜中、 太田、岩田>

- ・未来のガバナー候補 矢野さん、本日の卓  
話よろしくお願ひ致します。

### <矢野>

- ・大変恐縮ながら、本日卓話をさせて頂きま  
す。拙い話となりますが、最後までお付き  
合いの程をお願ひ致します。

### <原田、宮村、山尾、藤掛、太田、渡辺、小池、 上原、中村>

- ・立野さんのお母様の御冥福を心よりお祈り  
申し上げます。

### <立野>

- ・クラブの皆様、先日は母の葬儀にお花を賜  
り、誠にありがとうございました。また、  
原田会長、藤掛様、山尾様、ご参列頂き誠  
に有難うございました。

### <古谷>

- ・2ヶ月間休会して申し訳ありませんでした。  
本日より復帰しますので宜しくお願ひしま  
す。

### <伊石>

- ・古谷さん、先日はありがとうございました。  
夫婦共々楽しんで来ました。又、宜しくお  
願ひします。

### <松崎、柘、海内>

- ・オリンピック閉幕。日本選手の熱い闘いに  
拍手！ 2020年は東京だ!!

### <太田>

- ・東日本大震災

頑張れ 東日本！

立ち上がれ 日本!!



## 「三 社 祭」



浅草神社 禰宜

矢野幸士 会員

## 1. 浅草寺と浅草神社

今から1400年程の昔、当時浅草村に住む漁師の兄弟が現在隅田川となる海中より一体の仏像を拾い上げ、村の識者に見せたところ、観音像である事が判明し、識者はその仏像を自宅に祀り、篤く護持した。

これが、観音像が祀られる浅草寺の始まりであり、後に識者と漁師の兄弟の三名が、浅草寺の創始者・浅草発展の功労者として、その傍らに三社権現の称号にて祀られ、これが現在の浅草神社である。

## 2. 示現会と舟渡御

現在の「三社祭」は5月の第三金土日に行われ神輿の渡御が中心の祭礼であるが、江戸時代以前は、1312年に始まったとされる「舟祭」を元に、浅草寺の祭として「観音祭」「浅草祭」とも呼ばれていた。

12年前より昔の祭礼を再現するべく、その一部となる浅草寺の示現会に合わせ本堂への宮神輿「堂上げ」「堂下げ」という神事を行っている。

昔の祭礼の概要は、御縁日である3月18日の前日、三人の神様にお移り頂いた神輿を浅草寺本堂の外陣へお運びし、観音様と

共に一夜をお過ごし頂く。翌朝各町会から本堂前での山車の披露や様々な演芸、そして神事びんざさら舞が披露された。その後三基の御神輿は浅草見附（現在の浅草橋）まで運ばれ、そこから隅田川に浮かぶ舟に乗せられ、隅田川を渡航する「舟渡御」が斎行されていた。そして神輿は、現在の駒形橋たもとから上陸し、浅草寺本堂前を通り浅草神社に帰って来るといった流れであった。

当時のこの祭礼は、浅草のみならず、現大田区の大森地区より舟が提供され、浅草橋までの沿線町会も含め広い地域で行われていた。

「舟祭」が斎行された700年目となる本年3月に、約半世紀ぶりに神事であり仏事であり、そして観光の側面も含めた「舟渡御」が、浅草の人々の手によって復活した。

## 3. 観音示現1400年

観音様が隅田川から漁師に拾い上げられたのは628年とされている。16年後の2028年は観音示現1400年の慶祝の年であり、その年に「舟渡御」の再度斎行を目指している。